**ヨーク大学日本語科二学年読解・会話教材**

**AS/JP2000 6.0 Reading Comprehension and Dialogue**

**第28課「試験」Examination**

\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

**「読解」Reading Comprehension**

交換留学生の清水まゆみさんは、秋学期ははじめての外国の大学での勉強だったので、講義もあまりよく聞き取れず、 教科書を読むのにもだいぶ時間がかかり、小論文も英語では書きにくく、試験の勉強もどうしてよいか分からず、とても困りました。一番問題なのは、やはり英 語力で、カナダ人の学生だったら、一日で読める本が、三日かけても読めないのです。もっと大変なのは書く方で、小論文なら友達に見てもらえるから、まだい いのですが、論文形式のテストは時間が足りなくてお手上げでした。結局経済学のコースを一つ落としました。英語を含めたほかの三つのコースの成績はまあまあでしたが、心理学の小論文は先生に提出期限を延期してもらって、冬休みに書いて、先日出したばかりです。今学期は、三つしかコースを取っていませんが、「読書週間」が終わるとすぐ試験があることになっているので、今から戦々恐々です。それで、今日は、日系カナダ人のアドバイザーの正木教授に相談に行くことにしました。

\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

**「会話」Dialogue**

清水：先生、今日はお忙しいところをどうもすみません。

正木：久しぶりだね。勉強のことで悩んでいるんだって。

清水：はい、秋学期は、コースを一つ落としましたし、成績もあまりよくなかっ

たので、どういう風に勉強したらいいか教えていただけないかと思って。

正木：そうですか。聞き取りの方はだいぶなれたでしょう。

清水：はい、はじめのころと比べたら、かなり分かるようにはなったのですが、

語彙の不足を痛感しています。

正木：たいていの留学生に共通した問題ですね。これは、すぐによくなるという

ものではないんですが、それぞれの分野に出てくる専門用語を書き出して、

意味と使い方をきちっと頭に入れる努力をしたらいいと思います。

清水：読解の方も、読んでも後で何が書いてあったか覚えていないのですが。

正木：それもよくある問題で、読む時に本当に内容を理解していないだけでなく、自分の言葉で内容を記憶していないために起きる問題です。

清水：どうしたらいいでしょうか。

正木：私は、大切なところをハイライターで記して、読み終わってから、そこだ

け拾い読みして、内容を覚えておくことにしています。これで内容がだい

ぶ頭に残ると思います。これは試験のために復習をする時にも役に立ちま

すよ。

清水：ぜひやってみます。最後に、討論なんですが、他の人が話している時に、

どこで話し出したらいいのか分からなくて困るんですが。

正木：それは、僕でも困る場合があるんですが、要するに、英語と日本語の会話

のストラテジーの違いからくるものだ と思います。英語は一般的に「対話

的」、日本語は「独話的」と言えます。どういう意味かというと、日本人

同士の会話を聞いていると、たいてい中心人物が、 一人で話していて、あ

とはみんな聞き手に回っています。英語の場合は、キャッチ・ボールのよ

うにある人が話したら、次の人がそれを受け止めて話すというよ うに、会

話が進んでいきます。ですから、どこで会話に割り込んで、自分の会話を

進めるかという規則を心得ているわけです。日本人が会話に弱いというの

もこ んなところに原因があるのです。

清水：なるほど、おっしゃる通りですね。時々何とか相手の話に割り込もうとす

るのですが、相手にされないのです。

正木：そうですね。話し手が自分の場を主張しているのです。

清水：今日は勉強になるお話を本当にありがとうございました。少し気分が楽に

なりました。

正木： そうですか。それはよかった。問題があったら、またいらっしゃい。

\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

**[語彙]**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 試験 | しけん | ‘exam/test’ |
| 留学生 | りゅうがくせい | ‘exchange student’ |
| 秋学期 | あきがっき | ‘fall term’ |
| 講義 | こうぎ | ‘lecture’ |
| 聞き取る | ききとる | ‘listening comprehension’ |
| 教科書 | きょうかしょ | ‘textbook’ |
| 小論文 | しょうろんぶん | ‘essay’ |
| 困る | こまる | ‘have difficulties’ |
| 問題 | もんだい | ‘problem, question’ |
| 英語力 | えいごりょく | ‘English competence’ |
| 大変 | たいへん | ‘have a hard time’ |
| 友達 | ともだち | ‘friend’ |
| 論文形式 | ‘essay style’ | ろんぶんけいしき |
| 足りる | たりる | ‘enough’ |
| お手上げ | おてあげ | ‘give up’ |
| 結局 | けっきょく | ‘in the end’ |
| 経済学 | けいざいがく | ‘economics’ |
| 落とす | おとす | ‘drop’ |
| 含める | ふくめる | ‘include’ |
| 成績 | せいせき | ‘results’ |
| 心理学 | しんりがく | ‘psychology’ |
| 提出期限 | ‘due date’ | ていしゅつきげん |
| 延期 | えんき | ‘postpone’ |
| 取る | とる | ‘take’ |
| 読書週間 | どくしょしゅうかん | ‘reading week’ |
| 戦々恐々 | せんせんきょうきょう | ‘in great fear’ |
| 日系 | にっけい | ‘of Japanese origin’ |
| 正木 | まさき | a family name |
| 教授 | きょうじゅ | ‘professor’ |
| 相談 | そうだん | ‘consult’ |
| 忙しい | いそがしい | ‘busy’ |
| 久しぶり | ひさしぶり | ‘a while’ |
| 悩む | なやむ | ‘worry’ |
| 風 | ふう | ‘manner’ |
| 教える | おしえる | ‘teach’ |
| 比べる | くらべる | ‘compare’ |
| 語彙 | ごい | ‘vocabulary’ |
| 不足 | ふそく | ‘lack’ |
| 痛感(する) | つうかん | ‘feel acutely’ |
| 共通 | きょうつう | ‘common’ |
| 分野 | ぶんや | ‘field’ |
| 専門用語 | せんもんようご | ‘jargon’ |
| 意味 | いみ | ‘meaning’ |
| 使い方 | つかいかた | ‘how to use’ |
| 頭 | あたま | ‘head’ |
| 努力(する) | どりょく | ‘effort’ |
| 読解 | どっかい | ‘reading comprehension’ |
| 覚える | おぼえる | ‘remember, memorize, learn’ |
| 内容 | ないよう | ‘content’ |
| 理解 | りかい | ‘understand’ |
| 自分 | じぶん | ‘self’ |
| 言葉 | ことば | ‘language, words’ |
| 記憶 | きおく | ‘memory’ |
| 起きる | おきる | ‘happen’ |
| 大切 | たいせつ | ‘important’ |
| 記す | しるす | ‘mark’ |
| 拾い読み(する) | ひろいよみ | ‘skim through’ |
| 残る | のこる | ‘remain’ |
| 復習(する) | ふくしゅう | ‘review’ |
| 役に立つ | やくにたつ | ‘be useful’ |
| 最後 | さいご | ‘last’ |
| 討論 | とうろん | ‘discussion, debate’ |
| 他 | ほか | ‘other’ |
| 場合 | ばあい | ‘case’ |
| 要するに | ようするに | ‘in short’ |
| 違い | ちがい | ‘difference’ |
| 一般的 | いっぱんてき | ‘generally’ |
| 対話的 | たいわてき | ‘dialogue like’ |
| 独話的 | どくわてき | ‘monologue like’ |
| 同士 | どうし | ‘each other’ |
| 中心人物 | ちゅうしんじんぶつ | ‘central figure’ |
| 回る | まわる | ‘turn’ |
| 受け止める | うけとめる | ‘catch’ |
| 進む | すすむ | ‘proceed’ |
| 割り込む | わりこむ | ‘cut in’ |
| 規則 | きそく | ‘rule’ |
| 心得る | こころえる | ‘understand’ |
| 弱い | よわい | ‘weak’ |
| 原因 | げんいん | ‘cause’ |
| 相手 | あいて | ‘the other party’ |
| 主張(する) | しゅちょう | ‘claim’ |
| 本当 | ほんとう | ‘true’ |
| 気分 | きぶん | ‘feeling’ |
| 楽 | らく | ‘easy’ |

\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

©Norio Ota 2019